

「会話教育実践を示せんしよう！」ワークシート

メンバーエンバー氏名 台北	張桂娥 阿郎由理香(書記)	藤本紀子(発表者)楊錦昌(司会者)黄忠君(学生役②) (学生役①)
学習者の背景 レベル	初級→中級 上級	身分 (年少者 学生) (社会人)
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	発組 (ハセエチ) を制作 (初級から 中級への橋渡し) 1) 司会 カ技 行かる 2) 合本が ないたが Q&A の会話技術がぶつぶつ! 3) ワークショニ すり直 徹見 攻く	
扱う会話の種類・機能 (スライド 10)	インタビュー 対話 説明	
言語能力	語彙: 説明のための単語 文法: 終集表現、疑問句 音声: ワード見破ら山ひい表現方法。	点火: 全員を参加させよ。 セッティング: 1ラ、1ス、樂い、盛り上がる。 参加者: 全員の参加力 ハラエテ: 才能的な表現、態度(ごまかす) 内容: じんづ質問をするから彬える。 形: 情報提供 媒体: 視聴 うはすき、笑い(こわかし)
インターアクション能力育成のための指導学習項目	社会言語能力 社会言語能力	操作: 不順アドドと質問する。 運用: 意思半引半で進める。 知識獲得: 会話相手の意味を引き出す 行動実行: 楽しい場所作り 他の者の発信。

授業の流れ
(活動・指導学習項目・成果など)

実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能 コミュニケーション機能	
1回のクラスでの授業テーマ／ 本物は誰だ?!	
1) グループ分け。1グループ 3~4人。	
2) グループ毎に、相手にあてざる内容を 考える。(既習項目を総復習) <u>(発話の要領を持つ)</u>	
3) 7~10日に発表する。 司会。	
質問者。(本物を見抜くために 手を貸さない)変え様子。パートナーの質を出す。	
4) 本物を当てよ。 才发现が成立してはじめて達成感を得る。	

「会話教育実践を示せんしよう！」ワークシート

メンバーフィル名	方舟未央 邱英英	学年	3年3年	張金竹
学習者の背景	レベル (初級) 中級 上級	身分	(年少者 留学生 社会人(高校生、大学生))	
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	1) 日本会話がいけてきるようになります。 2) ちば員の接客言葉で理解できること。 3) カタカナ単語でも理解し発音すること。			
扱う会話の種類・機能 (スライド 10)	接待、対話を、販売、会議、雑談など			
語彙: 品物の知識、主文用語、金額、目次用語、接客用語 文法: 目次用語の使い方、へとへり 音声: 早いう木。				
点火: 注文の言い方 セクティング: ちば員→客 参加者: ちば員、客 パラエティ: カワ級者				
インターアクション能力育成のための指導学習項目	社会言語能力 社会言語能力	内容: メニュー、注文、金額 形: 操作: 媒体: メニュー 運用:		
社会文化能力	知識習得: 物を購入できること(生活用言語) 行動実行: メニューを見て食べたい物と決め、自分で注文し、支払いする			(台湾の高校では教員が旅行で、学生が日本に行く機会があるのに、フリーティムで使ってみることができる。)

授業の流れ (活動・指導学習項目・成果など)		実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能
1. 事か画で「ダウンロード」し、実際のマウントナイトでの 本番をや学ふ。	○ ちば員が「どうな本番をし、どんな言葉を 言告しているか翻訳して理解。	
○ HPからメニュー見て、どうな呪物、ナーツ ガ"あるかと石壁語。		
2. TからモテIV会話の紹介		
3. モテIV会話で参考にしてD-1レポート		
4. 実際、使用	○ 学習者が「古く行や研修で日本へ行った 日に、実際はマウントナイトで「食事をし、 次の日に日本馬鹿してた客、目にして 『舌』言語にて言葉、感想を参考して ことを報告する。	

「会話教育実践を示せインショウ！」ワークシート

メンバーフィルム	東(司会者) 吉田 重井(発表) 池田(書き下し)	木木、菜、
学習者の背景	レベル 初級 中級 上級	身分 年少者 留学生 社会人 大学生)
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	インタビューモードを通して (1) 質問の仕方 (2) 自手のこたえから 話題を発展させよ	
扱う会話の種類・機能 (スライド 10)	街頭販賣インタビューエネミー	
言語能力	語彙: 定型表現 文法: スペースレベル、あいづち、前回と展開 音声: スピード、イントネーション(高め)、反応	4. 教室へ戻り、結果で報告
インタークション能力育成のための指導学習項目	セッティング: 会場のモデル、セントラル(鼎泰豊前) 参加者: 傷田、池田、日本料理芝客 パラエティ: スペースレベル(丁寧な、敬語) 内容: タイプ: 進行(日本人の好みが見える地(ばじか)台湾のインテリビューパターン) 形: 一方方向型のやり取り 媒体: 音声 リスニング、音声再生 メモをちら見 操作: 自己の発言能力を引き出す(事前に準備) 運用: 連続、メタメッセージを送る(丁寧さ)	5. 生のコメント
社会文化能力	知識獲得: 日本人の好きな観光地を紹介	行動実行: インタビューや、結果まとめ グラフで表す

授業の流れ (活動・指導学習項目・成果など)		実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能
1. タイアップ-ゲージをこうこう 2. ロールプレイ 3. カット(鼎泰豊前へ) 4. 教室へ戻り、結果で報告 5. 生のコメント	考文室内活動 FACT (指導中心) 原稿 (支撑中心)	

「会話教育実践をデザインしよう！」ワークシート

メンバーフィル	台北 加藤玲人、郭雪鳳、孫寶華、鍾佩玲、下島陽子	社会言語能力 社会文化能力	社会言語能力 社会文化能力
学習者の背景	レベル 初級 中級 上級 身分 (年少者 留学生 社会人: 大学生1年生)	内容: 香港人と台湾人との会話実践	内容: 香港人と台湾人との会話実践
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	日本人観光客と台湾観光について話をす	形態: 言葉の発音練習	形態: 言葉の発音練習
扱う会話の種類・機能 (スライド10)	イントロダクション	操作: プレゼンテーション	操作: プレゼンテーション
		運用: 行動実行	運用: 行動実行

授業の流れ (活動・指導学習項目・成果など)	
<p>① 香港地図: 開拓する語彙の導入。(日本語發音) 食べ物</p> <p>形容詞、動詞の導入。</p> <p>② ローレンフロイ 日本人観光客と台湾人</p> <p>③ 日本人観光客の多い觀光地やレストランでの実践。</p> <p>④ 実際に体験を發表し、ディスカッション</p>	<p>実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能</p>

「会話教育実践を示せインしょう！」ワークシート

メンバーフル名 会社	朱さん、中西さん、金澤さん、小田先生（田中） (5名)
学習者の背景	レベル（初級（中級）上級） 身分（年少者 留学生 社会人： 大学生 30歳）
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	日本へ旅行したり、障害者用日本語を学び、学習済みの日本語を使って、ホテルの予約や会話をしたり、課題と達成するまでに必要な言葉を覚えておきたい。

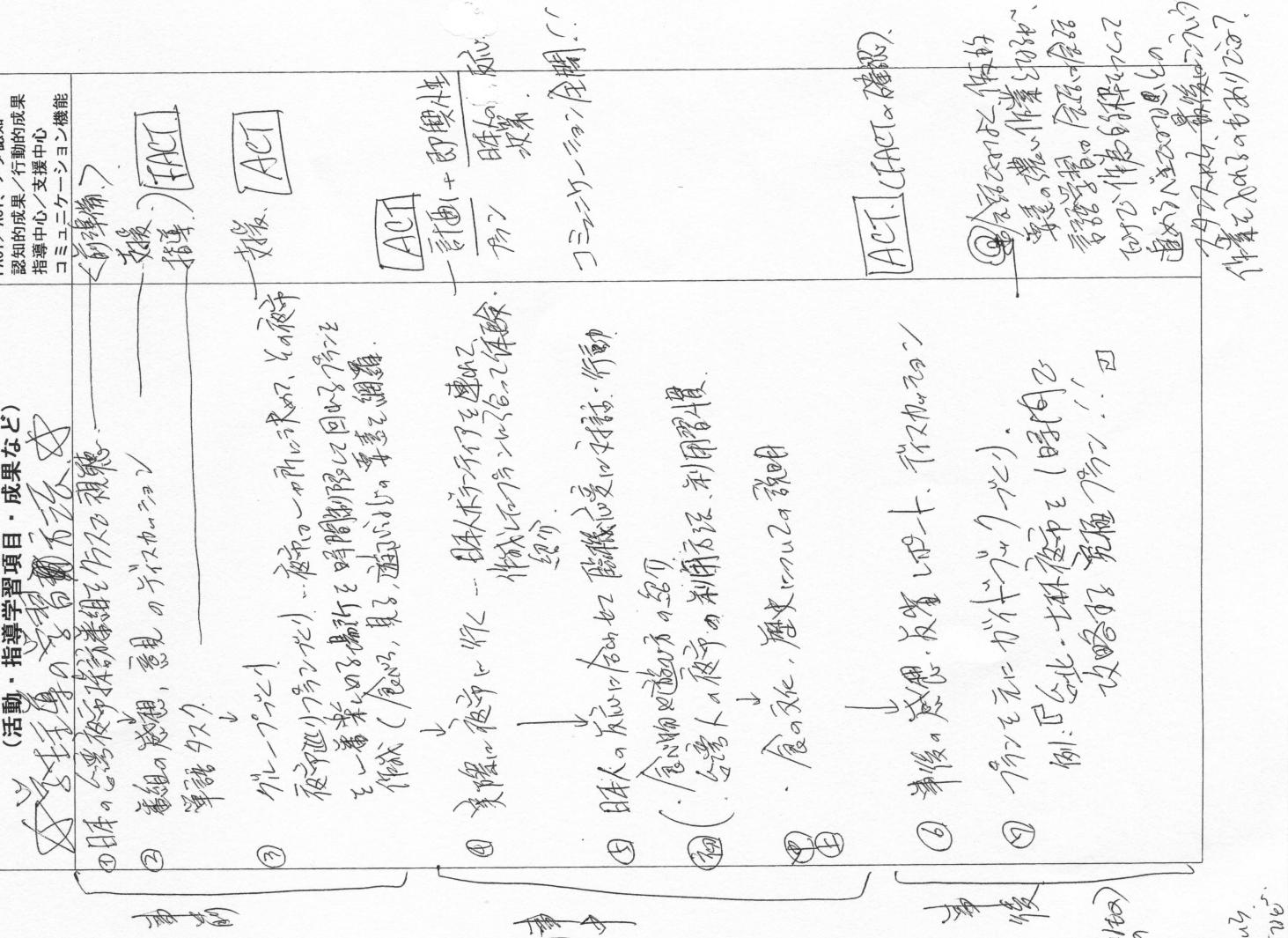
使う会話の種類 機能 (スライド10)	詰問： あいさつ、聞き取り、自分の希望を伝える、質問する。 会話： 会話の流れ（おれ、別れの挨拶）など 語彙： 旅行で使う用語、旅行先の現地の地図 文法： たすねる、尋ねる、確認する、等の表現 音声： 1) だら。 2) お詫びです
セッティング：	点火： ホテルフロント窓口の方 セッティング： 旅行先のホテル（アート、電話、ドア-ラン）
参加者：	ホテルスタッフと旅行客
パラエディ：	客が詰める言語は荀子語（じんしょく）です…。 内容： ホテルスタッフに自分の希望を伝える。 形： 直接的・間接的会話、方。
インターラクション能力 社会言語能力 達成のための指導学習項目	媒体： 言語的・非言語的表現 / 地図やガイドブックを使用。 操作： 指示やノック。 運用： 4番の応用会話で1)～6)のいずれかを用いる。 知識獲得： ホテルスタッフの詰め言葉と席が言語可の言語 同一ではい。
社会文化能力	行動実行： 日本のホテルに宿泊する時に、どのようにして旅券をもらおう。 会話、行動、等。

授業の流れ
(活動・指導学習項目・成果など)

授業の流れ (活動・指導学習項目・成果など)		実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能
1. 日本旅行（1つ1枚）	実際使用 即興性	視知的成果 指導中心 計画性 FACT
2. ホテルフロント窓口会話	練習	視知的成果 指導中心 計画性 FACT
3. 応用会話	視知的成果 指導中心 計画性 FACT	視知的成果 指導中心 計画性 FACT
4. ホテルフロント窓口会話場面	視知的成果 指導中心 計画性 FACT	視知的成果 指導中心 計画性 FACT
5. ホテルフロント窓口	メタ認知 ACT	メタ認知 ACT
6. 気づきと学生の発表式（代わりに、音楽も）	日本語中間評議会	日本語中間評議会

「会話教育実践を示サインしよう！」ワークシート

授業の流れ



「会話教育実践を示せんしよう！」ワークシート

メンバーフラッシュ	高橋未子・岩野純子・曾芝愛理・湯原絹・池田千葉
学習者の背景	レベル 初級 中級 上級 働年 年齢 年少者 留学生 社会人 男女の割合 25% 女性 75% バル
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	写真を写せながら、楽しく書いて、書くことで、(1)活用表現・内なる心を理解する能力 (2)音楽、歌などの情報収集と発表能力 (3)写真をもとにデジタルで加工する能力 (写真の色) (金魚)
扱う会話の種類・機能 (スライド10)	「对话」「説明」「インビテーション」 (会話の範囲)
言語能力	語彙: 生活用語、ストーリーの説明のための単語 (静岡方言など) 文法: 文法を意識せぬままの発言 (はなぶなし) 音声: 声の調子 (特に空間感の表現) (ア)
インターアクション能力育成のための指導学習項目	参加者: 点火: インタビューや会話の流れを引導する者 ヒヤリング: ブルーフォルムが前に出て、写真の形を指す者 参考者: 会場の観察者 (参加者)
社会言語能力	ハラエティ:
内容:	知識獲得: 会話の写真に対する知識を知る。 社会文化能力
形: 直接的な対話: インタビューや会話の流れ、丁寧体。	行動実行: 「写真を見て、感じて、話す」として、写真に対する感想を述べる。
媒体: 写真 (5~6枚) の準備	操作:
運用:	知識獲得: 会話の写真に対する知識を知る。 社会文化能力

授業の流れ		活動・指導学習項目	(活動・成果など)
実際使用／練習	計画性／即興性	FACT／ACT、メタ認知	
認知的成果／行動的成果	指導中心／支援中心	コミュニケーション機能	
「会話教育実践を示せんしよう！」ワークシート	「会話教育実践を示せんよう！」ワークシート	「会話教育実践を示せんよう！」ワークシート	「会話教育実践を示せんよう！」ワークシート
① 寝休みのみ、 寝休み 楽しい活動があつた時の写真を5枚準備する			
② 「寝休み、一番楽しかったこと(何ですか?)」と、「寝休みと一緒にしたことがあります。	② 「寝休み、一番楽しかったこと(何ですか?)」と、「寝休みと一緒にしたことがあります。	② 「寝休み、一番楽しかったこと(何ですか?)」と、「寝休みと一緒にしたことがあります。	② 「寝休み、一番楽しかったこと(何ですか?)」と、「寝休みと一緒にしたことがあります。
③ 教材の写真がうまくつかえるかは、	③ 教材の写真がうまくつかえるかは、	③ 教材の写真がうまくつかえるかは、	③ 教材の写真がうまくつかえるかは、
寝室を逃って、食間あります。	寝室を逃って、食間あります。	寝室を逃って、食間あります。	寝室を逃って、食間あります。
④ 朝間に廊下に答えるときに留意する。	④ 朝間に廊下に答えるときに留意する。	④ 朝間に廊下に答えるときに留意する。	④ 朝間に廊下に答えるときに留意する。
⑤ 朝表形容詞(が)、クラスの他の子達は動きまくっている。	⑤ 朝表形容詞(が)、クラスの他の子達は動きまくっている。	⑤ 朝表形容詞(が)、クラスの他の子達は動きまくっている。	⑤ 朝表形容詞(が)、クラスの他の子達は動きまくっている。
⑥ 答えかいて。	⑥ 答えかいて。	⑥ 答えかいて。	⑥ 答えかいて。
c. 游隼、文玄、伊奈一久	c. 游隼、文玄、伊奈一久	c. 游隼、文玄、伊奈一久	c. 游隼、文玄、伊奈一久
d. あいづちの基本ができ子から離れる。	d. あいづちの基本ができ子から離れる。	d. あいづちの基本ができ子から離れる。	d. あいづちの基本ができ子から離れる。

「会話教育実践を示せインしょう！」ワークシート

メンバーフラッシュ名 台北	北 大田 佐伯 真代 先生 清水 能美 梶原 真子	会話実践、構築、発表、意見交換、相談、意見交換
学習者の背景 レベル	(初級) 中級 上級	身分 (年少者 留学生 社会人: 大学生)
学習の目的 (どんな能力を育成したいか)	会話をのめりこむことの上、実際の料金等も調べる(日本事情)	会話をのめりこむことの上、読むことばかりでなく、話すことができるようになる
扱う会話の種類 機能 (スライド 10)	会話、交渉、交渉の収集	会話、交渉、交渉の収集
言語能力	語彙: 生活用語、旅行会話 文法: 会話に合わせた文法(道を聞く、成る) 音声: 成るに合わせたintonation、男女の違い	会話、交渉、交渉の収集 場面設定 会話の構成要素 会話の構成要素
点火: 2.3 と 2.4, 2.2 セッティング: 1.1, 4, 5 参加者: 男性(主な国とか文化の役割を決める) ハラエディ: 会話を始めた後割合。	会話: 2.3 と 2.4, 2.2 セッティング: 1.1, 4, 5 参加者: 男性(主な国とか文化の役割を決める) ハラエディ: 会話を始めた後割合。	会話: 2.3 と 2.4, 2.2 セッティング: 1.1, 4, 5 参加者: 男性(主な国とか文化の役割を決める) ハラエディ: 会話を始めた後割合。
インターアクション能力育成のための指導学習項目 社会言語能力	内容: 旅行会話 形: 相互型の質問一応答型 媒体: 音声、非文儀 操作: 心の態度まで調節、自己の発達能力を高め 運用: ハラエディの豊富さ	内容: 旅行会話 形: 相互型の質問一応答型 媒体: 音声、非文儀 操作: 心の態度まで調節、自己の発達能力を高め 運用: ハラエディの豊富さ
社会文化能力	知識習得: 日本の文化、理解 行動実行: 自身の感想、意見を持つて(他者に対する意見がある)	知識習得: 日本の文化、理解 行動実行: 自身の感想、意見を持つて(他者に対する意見がある)

(活動・指導学習項目・成果など)

授業の流れ		実際使用／練習 計画性／即興性 FACT／ACT、メタ認知 認知的成果／行動的成果 指導中心／支援中心 コミュニケーション機能
旅行の経験を持つ 思い出してシナリオを作成 役割分担 小説の収集	支援中心 計画性 コミュニケーション機能	支援中心 コミュニケーション機能